

# I 九州電力の取組状況

持続可能な社会の構築に貢献し続けていくために、事業活動と環境を両立する「環境経営」を九州電力グループ一体となって推進しています。

## 九州電力グループ環境憲章

九州電力グループは、事業活動に伴い環境負荷を発生している企業グループとして、環境保全に真摯に取り組んでいく責務があると深く認識しています。

このため、環境保全を経営の重点課題として位置付け、事業活動全般にわたって、事業活動と環境を両立する「環境経営」を推進しており、取組みの指針として、環境活動の心構えや方向性を明確に示した「九州電力グループ環境憲章」を制定しています。

### 九州電力グループ環境憲章

～環境にやさしい企業活動を目指して～

九州電力グループは、持続可能な社会の実現を目指して、グローバルな視点で地球環境の保全と地域環境との共生に向けた取組みを展開します。

- 1 地球環境問題への適切な対応と資源の有効活用に努め、未来につなげる事業活動を展開します。
- 2 社会と協調し、豊かな地域環境の実現を目指した環境活動に取り組めます。
- 3 環境保全意識の高揚を図り、お客さまから信頼される企業グループを目指します。
- 4 環境情報を積極的に公開し、社会とのコミュニケーションを推進します。

2008年4月制定

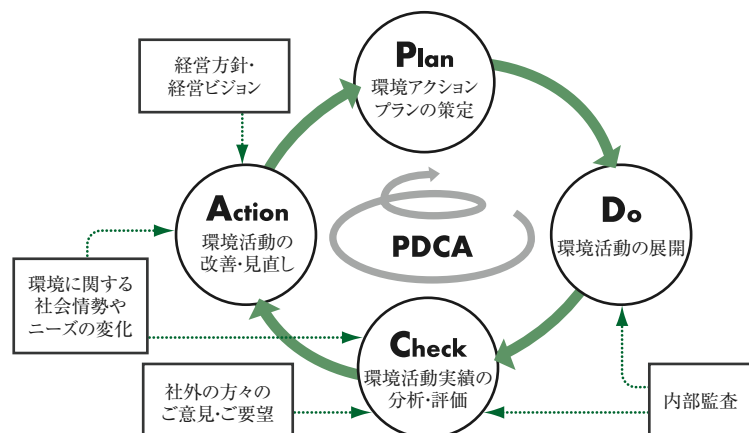
## 九州電力グループ環境アクションプラン

「九州電力グループ環境憲章」のもと、環境経営を着実に推進していくための活動計画として、毎年度、「九州電力における取組み」及び「グループ会社における取組み」から成る「九州電力グループ環境アクションプラン」を策定し、その確実かつ確かな展開に向けて継続的に取り組んでいます。

なお、取組状況については、「環境アクションレポート」として取りまとめ、毎年度公表しています。

(グループ会社の取組状況についてはP39参照)

環境経営のPDCA図



九州電力における環境アクションプランは、5つの柱から成る「環境活動方針」、「環境目標」及び具体的な「環境活動計画」で構成しています。

### (1) 環境活動方針

各環境活動に取り組むにあたっての中長期的な基本方針であり、5つの柱で構成しています。

5つの柱		環境活動方針
1	地球環境問題への取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気の供給面・使用面の両面からの温室効果ガスの排出抑制</li> <li>京都議定書、ポスト京都議定書等への適切な対応</li> <li>国際的な温暖化対策への貢献</li> <li>規制対象フロン回収徹底(オゾン層の保護)</li> </ul>
2	循環型社会形成への取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物のゼロエミッション活動の展開(3Rの徹底)</li> <li>グリーン調達推進</li> </ul>
3	地域環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>発電所、変電所等の環境保全</li> <li>周辺環境との調和</li> <li>PCB・石綿の適正管理</li> <li>生物多様性の保全</li> <li>環境負荷低減に資する研究・開発</li> </ul>
4	社会との協調	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境コミュニケーションの推進</li> <li>地域における環境活動の展開・支援</li> <li>次世代層へのエネルギー・環境教育の展開</li> </ul>
5	環境管理の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境マネジメントシステム(EMS)の的確な運用</li> <li>九州電力グループ一体となった環境経営の推進</li> <li>環境効率性の向上</li> <li>社員の環境意識高揚</li> </ul>

### (2) 環境目標 (P19「環境目標と実績」参照)

販売電力量あたりのCO<sub>2</sub>排出量や産業廃棄物リサイクル率など、23項目(2010年度)の目標を設定しています。

### (3) 環境活動計画

環境活動方針のもと、各所・各人が実施すべき具体的な活動計画であり、環境目標達成に向けて取り組んでいます。

## 推進体制

(2011年9月末現在)

経営層と直結した推進体制を構築するとともに、社外有識者による評価機関を設け、環境経営を着実に推進しています。

